

第九十回帝國議會 衆議院

所得稅法の一部を改正する等の法律案外二件委員會會議錄(速記)第三回

付託議案 所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)

臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

地方稅法及び地方分與稅法の一部を改正する法律案(政府提出)

昭和二十一年八月六日(火曜日)午前十時十七分開議

出席委員

委員長 吉米地義三君

理事中野 武雄君 理事深津玉一郎君 理事八木佐太治君 理事宮澤才吉君 理事松永 義雄君 理事今井 耕君

小林山榮吉君 坂本 實君 田中 實司君 寺尾 豐君 江川 爲信君 松岡 運君

奥村又十郎君 川島 金次君 柳原 千代君 玉井 潤次君

林田 哲雄君 飯田 義茂君 原尻 東君 鈴木 憲一君

山下 ツ子君

同日飯島祐之理事辭任ニ付其ノ補闕トシテ八木佐太治君ガ理事ニ當選シタ

出席政府委員

內務政務次官 世耕 弘一君 內務事務官 郡 祐一君

內務事務官 萩田 保君 大藏政務次官 上塚 司君

大藏事務官 池田 勇人君 大藏事務官 前尾繁三郎君

本日ノ會議ニ付シタ議案 所得稅法の一部を改正する等の法律案(政府提出)

臨時租稅措置法を改正する法律案(政府提出)

地方稅法及び地方分與稅法の一部を改正する法律案(政府提出)

○苦米地委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、先ツ御諮リ致シタイコト

ガゴザイマス、飯島祐之君ガ理事辭任ノ申出ヲ致シマシタ、飯島君ノ理事辭任ヲ認メルコトニ致シマシテ、先例ニ依リ其ノ補缺選舉ハ

委員長指名ト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○苦米地委員長 御異議ナシト認メマス、ソレデハ八木佐太治君ヲ理事ニ指名致シマス、御承知願ヒマス、前會ニ引續キマシテ質疑ヲ許シマス、宮澤才吉君

○宮澤委員 私人最初ニ大藏省關係ニ付テ質疑ヲ致シタイト存ズル

ノデアリマスガ、大臣ガ御見エニナラナイヤウデスカラ、若シ御聽キテ願ハレテ、後デ大臣ヨリ御答辯願ハレ、バ、最初ニ致シテ置キ

タイト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ大藏省當局ニ御伺ヒシタ

イト思ヒマス

○上塚政府委員 若シ政務次官若シクハ主稅局長デ御差ヘガゴザイマセヌデシタラ、此ノ場デ御答ヘラ致シマス、尙ホソレデ御不満足デアリマスレバ大臣ニ取次ギマシテ、大臣出席ノ節ニ御答ヘスルコトニ致シマス

○宮澤委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ大體了承致シタ譯デアリマスカラ、若シ私ノ質問ニ御答ヘガ當ラナイ場合ニハ、更ニ大臣ヨリ御答ヘテ願フコトニ致シマシテ、最初ニ國土保全ニ付テ大藏省ノ抱負ヲ御聽キンタイノデアリマス、ト云フコトハ、申上ゲルマデモナク戰爭中ニ於キマシテハ食糧増産ガ第一點張リデアリマシテ、恐ラク內務省關係或ハ其ノ他ノ所管ノ關係ト致シマシテモ、食糧増産以外ノ關係、或ハ戰力増強ニ最モ急デアル増産ノミヲ持ツテ來タヤウデアリマシテ、先ツ內務省關係ニ付キマシテハ後廻シト云フヤウナコトデ、ソレハ內務土木ニ致シマシテモ、或ハ治山治水ノ關係ニ致シマシテモ後廻シニナツタト云フコトデ、凡ユル關係ガ荒廢シテ居ルト云フヤウナ状態ニナツテ居ル譯デアリマスカラ、是ノ戰後ノ對策ト致シマシテ大藏省ハ、私ノ御聽キスルコトニ付テハ內務省、

農林省ノ兩方ニ關係スル譯デアリマスケレドモ、何レニ致シマシテモ、其ノ金ヲ出ス所ハ大藏省デアリマシテ、大藏省ガ承知ラシナケレバ出ナイノデアリマス、先ツサウシタ場合ニ大藏省ハドウ云フ御考ヘテ持ツテ居ルカ云フコトデアリマスカラ、勢ヒ私ノ質問ハ內務省關係、或ハ農林省關係ニモ及ボシテ參ル譯デアリマスケレドモ、其ノ點御諒承願ツテ置キタイト思フノデアリマス

先ツ只今申上ゲマシタヤウニ內務土木デアルトカ、或ハ農林省關係ノ食糧以外ノ、戰力増強ト直接ノ關係以外ノモノニ對シテハ後廻シニナツテ居ルト云フヤウナ關係ニ付テ、私ノ意見ヲ申上ゲテ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、國土保全ノ意味合カラ致シマシテ、近來非常ニ災害ガ多イト云フヤウナコトハ、是ハ今マデノ內務土木、或ハ治山治水ト云フヤウナ關係ニ缺ケテ居ル點ガアツタカラデアルト云フコトハ見逃セナイノデアリマス、殊ニ最近ノ北海道ノ石狩川ノ氾濫ノ如キモ、是ハ木ヲ多ク伐採シテ、山林ガ荒廢シタト云フヤウナコトニ原因スルノデアリマスカラ、是等ノ關係ニ付テ今後戰後ノ對策ト共ニ、國土保全ト云フヤウナ意味合カラ致シマシ

テ、大ナル所ノ事業ヲ施行シテ參ラナケレバナラナイト云フコトデアリマシテ、先ツ治山治水ト云フ問題ニ付テ大藏省ハドウ考ヘテ居ルカト云フコトヲ御聽キスルノデアリマス、昨年ハ御承知ノ如ク四五十年來ノ凶作デアツテ、米ノ減收ハ御承知ノ通りデアリマスガ、尙ホ、更ニソレニ加ヘテ災害ニ依ツテ一千万石以上ノ損失ラシテ居ル、減收ヲ見テ居ルト云フヤウナ今日、之ヲ急速ニ對策ヲ講ジナケレバ、如何ニ農民ガ米麥ヲ増産致シマシテモ、收穫間際ニ災害ニ依ツテ流サレテシマフ、不毛ニ陥レルト云フヤウナコトニ相成ツテハナラナイ譯デアリマスカラ、是等ノ恒久對策ヲ先ツ以テ考ヘタイト云フコトト、又現在失業者ガ一千万ニモ達シヨウト云フ今日、應急策ト致シマシテハ失業救濟、又其ノ事業ガ恒久對策デアルト云フ方面カラ考ヘマシテ、是等ノ事業ノ施行ニ付テドウ云フ御考ヘテ持ツテ居ルカ、ソレニ對スル所ノ金ヲ出スコトニ付テ、大藏省、殊ニ金ヲイヂル關係ノ方ハ消極的デアツテ、成ルベク出サナイ、出サナイト云フヤウナ方面バカリ考ヘテ居ルト云フコトハ私ハ承知シテ居ルノデアリマスガ、今少シク國土保全ト云フ、百年ノ大計ヲ立テルト

云フヤウナ意味合カラシテ、此ノ大計ヲ立テテ職キタイト云フコトヲ望ムノデアリマシテ、先ツ治山治水ニ付キマシテハ、戦力増強ノ爲ニ木ヲ伐採シタコトガ非常ニ多イト云フコトデ、石狩川ノ氾濫モ之ニ基因スルト云フコトハ、是ハ争ハレナイ所ノ事實デアリマス、北海道バカリデナク、各地方ノ山林縣ガサウデアリマシテ、其ノ影響ヲ受ケルノハ何處デアルカト云フト、下流ノ木ノナイ方ノ國土ニ影響ヲ及ボシテ居ル譯デアリマシテ、是等ノ對策ニ付テハ、現在ノ材木ノ値段ガ非常ニ上ツテ參ツテハ居ルケレドモ、ソレガ運算デアール、市場ノ相場ハ高クナツテ居ルケレドモ、段々ト運賃デ、アルトカ勞務デアルトカ、伐採費デアルトカ云フ様ナ事ニ逆算シテ參ル爲ニ實際ノ立木ノ値段ハサウ高クナツテ居ラナイト云フ様ナコトニ相成ルノデアリマスルカラ、之ヲ色ナ強權デアルトカ法ニ依ツテ強制的ニ伐採ヲ命ゼラレテ、其ノ跡地ノ植林ガ困難ナ譯デアリマスカラ、是等ノ不毛ノ地ニ對シテ植林スルト云フヤウナ場合ニ付テモ、治山ト云フヤウナ意味合、ヤハリ山ニ木ヲ植エテ治水ヲ圖ルト云フヤウナ意味合カラ致シマシテ、是等ノ植林費ニ對スル補助、私ハ全額補助ヲ要望スルノデアリマスケレドモ、是等ノ點ニ對シマシテ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、又

治山、治水ノ砂防工事、或ハ内務省ノ土木關係ノ堤防其ノ他ノ治水關係ト云フヤウナ關係ニ付テノ工事ノ施行ノ場合ニ、大藏省ハドウ考ヘテ居ルカ、農林省ト致シマシテモ内務省ト致シマシテモ、事業ハ施行致シタイケレドモ、大藏省ガ財布ヲ擱ンデ居ツテ中々出サナイト云フコトデ、何時モ惱ンデ居ル譯デアリマスガ、一ツノ例ヲ申上ゲルト現在ノ内地ノ山林面積ハ約二千五百萬町歩アル譯デアリマス、此ノ二千五百萬町歩ノ山ガ北海道ハ針葉樹デアアルナラバ一年ニ五十立方「メートル」或ハ九州方面ニ於キマス、一年ニ二十五立方「メートル」ノ伸長率ガアルト云フヤウナコトカラ致シマシカ、現在ノ材木ノ價格カラ致シマシテ恐ラク四十億、五十億ト云フ金ガ、國ノ富ノ成長ガ、知ラズ識ラズノ間ニ太陽ノ光線ト力ニ依ツテ伸ビテ居ルト云フコトデ、唯山林ヲ荒シテ置クト云フコトハ國土保全ノ上カラモ、又國ノ富ハ程度ヲ増スト云フヤウナ意味合ノ積極的ナ考ヘカラ參リマシテ、ドウシテモ是ハ十分ナル所ノ施策ヲ講ジテ參ラナケレバナラヌ、斯ウ考ヘル譯デアリマスガ、是等ノ積極的事業ニ對シ、國土保全、或ハ災害ノ防止ト云フヤウナ關係ニ付テ、又一ツハ恒久對策、或ハ應急對策、失業救済ト云フヤウナ意味合カラ致シマシテ、相當ノ金ヲ出スコト

ガ、大藏省トシテ承知ガ出來ルカドウデアアルカト云フコトヲ、先ツ以テ御聽キシテ置キタイト思フノデアリマス

○上塚政府委員 宮澤君ハ只今國土計畫ニ關スル御抱負ヲ御述ベニナリマシテ、大藏省當局ノソレニ對スル意見ヲ御尋ネデゴザイマスルガ、國土計畫ニ關シマシテハ、政府全體ト致シマシテ、大キナ計畫ヲ立テテ居ラナイマシテ、殊ニ内務省、農林省等ニ於テ具體的ノ對策ヲ作り上ゲル次第デアリマス、サウシテ大藏省ニ其ノ經費ヲ求メラレルノデアリマスガ、大藏省トシテハ決シテサウ云フ費用ニ對シテ出シ各シミフスルヤウナコトハゴザイマセヌ、國家財政ノ許ス限度ニ於キマシテハ、出來ルダケ多クサウ云フ方面ノ費用ヲ經費ヲ廻サナクテハイカスト云フコトヲ考ヘテ居リマス、殊ニ只今仰セノ北海道ノ開拓事業ノ如キ、今日マデ數十年ノ間、特ニ開拓費用ニ付キマシテ政府ハ巨額ノ費用ヲ振向ケテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、是等ノモノハ總テ國家全體ノ發展ハ繁榮ノ上カラ致シマシテ、考慮シテ定メテ居ルモノデアリマシテ、大藏省ガ若シ經費ニ付テ出シ溢ルト云フヤウナコトガアツタトスレバ、ソレハ豫算ノ上カラ致シマシテ、殊ニ今年度ノ如キハ非常ニ多額ノ國費ヲ必要ト致シマス、約二百五十億以上ノ赤字財政

トナツテ居リマス、サウ云フヤウナ關係ヲ以テマシテ、御希望通りノ經費ノ支出ガ或ハ出來ナカツタカモ知レマセヌケレドモ、常ニ國土保全ノ問題ニ關シマシテハ十分ノ考慮ヲ費シマシテ、出來ルダケノ費用ヲ之ニ向ケタイト云フ考ヘテ持ツテ居ル次第デアリマス、左様御諒承ヲ御願ヒシマス

○宮澤委員 只今ノ御意見ガ大臣ト同ジ御意見デアレバ非常ニ結構ナコトデアリマシテ、全ク農林省ヤ内務省ガ計畫ヲ立テタコトニ對シテ出シ各ミラシナイト云フコトデアレバ私ハ満足スル譯デアリマス、殊ニ治水事業ノ關係ニ付キマシテハ五箇年計畫ガ、アレハ髓カ本年デ終リタルカト思ヒマスガ、明年ヨリハ更ニ五箇年計畫或ハ七箇年計畫ト云フヤウナ計畫ヲ立テテ、大ナル所ノ國費ノ出費ヲ願ハナケレバナラナイト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ル譯デアリマスカラ、其ノ際ハ勿論只今ノ御説ノヤウニ、國ノ財政ト睨ミ合セテサウシテ出來ルダケ出スト云フヤウナコトデアリマスカラ、積極的方面ニ考ヘ、又國土保全ト云フコトガ、唯其ノ地方デ施行スル事業ガ必ズシモ其ノ地方ノ事業デナイ、是ハ國全體ノ仕事デアルト云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルコトハ非常ニ私ハ満足スル譯デアリマスガ、サウシテ意味合ニ於キマシテ更ニ計畫ヲ立テラレタ時ニハ出來ルダ

ケノ、出シ各ミラシナイト云フ方面ニ付テ、積極的ニ御考ヘテ願ヒタイコトヲ切望シテ置キマシテ、此ノ問題ハ是ニテ満足ヲ致シマシテ、アリマスカラ打切りニ致シマス、次ニ稅制改革ノ問題ニ付テ御聽キシタイノデアリマス

先ツ第一ニ改正稅制ハ公正ト國民負擔ノ均衡ヲ缺イテ居リハシナイカト云フコトヲ御聽キシタイノデアリマス、次ハ國民所得ノ見積リガ過大デハナイカト云フコト、三ト致シマシテハ、勤勞所得稅ノ稅率ヲ引上ゲルコトハ不適當デアリナイカ、ソレカラ又主ト致シマシテ生産力増強ノ爲ノ酒ノ造石ノ增加ヲ考ヘテ居ルカドウカ、五ト致シマシテ物品稅ノ徵稅方法ニ付テ御聽キシテ見タイノデアリマス

先ツ最初申上ゲタヤウニ第一ト致シマシテ、終戦後我が國ノ諸情勢ノ推移ニ依ツテ増稅ノ必要ハ是ハ申上ゲルマデモナイノデアリマスカラ、國民ノ稅ノ負擔ニ付テハ公正デナケレバナラナイ、又均衡ヲ缺イテハナラナイト存ズルノデアリマス、政府ハ國ノ財政ニ徵シマシテ、又事務ノ簡素化ヲ圖ルト云フヤウナ見地カラ致シマシテ、今回ノ稅制ノ改正ヲ行ハレタノデタリマスガ、事務ヲ大幅ニ簡素化スル時ハ私ハ公正或ハ均衡ト云フ點ガ缺ケハシナイカト云フコトヲ變フルノデアリマス、一例ヲ申上ゲマスト各種ノ稅目ヲ一本ニスルト

云フヤウナコトデ、或ハ其ノ税率ガ百分ノ二十デアル、二十五デア
ル或ハ三十デアアルト云フノ一
ニ平均率ニシテシマウト云フヤウ
ナコトニ致シマス、是ハ公正ヲ缺
イテ來ハシナイカ、サウ云フ風ニ
考ヘルノデアリマシテ、餘程前カ
ラ事務ノ一素化ヲシナケレバナ
ナイト云フコトヲ申シテ居ルノデ
アリマス、他ノ事務ハ兎ニ角ト致
シマシテ、税ノ徵收ノ簡素化ト云
フヤウナコトハ或ハソコニ間違ヒ
ヲ生ジハシナイカ、或ハ公正ヲ缺
キハシナイカト云フコトデアリマ
ス、ソレ等ノ點ノ一々ノ例ヲ舉ゲ
マスト中々長クナルノデアリマス
ガ、サウシタ場合ニ公正ヲ缺クト
カ或ハ均衡ヲ缺クト云フコトニナ
リハシナイカト考ヘルノデアリマ
ス、相續稅デアルトカ或ハ所得稅
ト云フヤウナモノハ累進課稅デナ
ケレバナラナイト云フヤウナ意味
カラ行キ、又其ノ税ノ性質、性格
カラ行キマシテ、簡素化シテ之ヲ
徵稅シヨウト云フ風ニスルコトガ
果シテ今ノ公正デアアルカ、或ハ均
衡ヲ缺イテ居リハシナイカト云フ
コトヲ先ツ大綱ニ御聽キスルノ
デアリマスガ、其ノ點ニ付テ御伺
スル次第デアリマス

○池田(勇)政府委員 租稅ガ公正

デアリ、均衡ガ取レテ居ルト云フ
コトハ租稅ノ生命デゴザイマス、
隨テ如何ニ簡素化スルト申シマシ
テモ租稅ノ公正ヲ害スルヤウナ簡

素化ハ不適當デアルト考ヘマス、
唯我が國ノ稅制ハ昨日モ御話ガゴ
ザイマシタヤウニ、非常ニ複雑ニ
亙ツテ居リマシテ、殊ニ戰時ノ要
求ニ應ズル爲ニ凡ユル手ヲ盡シテ
居リマス、只今トナリマシテハ、
其處マデ行クト云フコトガ、殆ド
不必要デアリ、又不適當デアルト
云フコトガ考ヘラレマスノデ、サ
ウ云フ點ヲ簡素化致シタヤウナ次
第デゴザイマス、實例デ申上ゲマ
スト、臨時利得稅ハ戰時中竝ニ戰
前カラ設ケテ居リマシタガ、非常
ナ收入ノアル臨時利得稅ヲ止メマ
シタノモ、實質的ニハ殆ド意味
ヲナサナイ、又法人稅課稅スレ
バ宜イ、斯ウ云フヤウナ考ヘデ實
質的ニ負擔ガ變ラナイヤウニ致ス
ヤウニ稅法ヲ廢止シタリ、又所得
稅ニ於キマシテモ分類所得稅、殊
ニ預金ノ利子ニ付キマシテハ非常
ニ複雑デゴザイマシテ、専門家デ
モ中々分ラナイヤウナ色ヲナ稅率
ヲ設ケテ居リマス、併シ斯クシマ
スコトハ却ツテ負擔ノ不均衡ヲ來
シマス實例モアリマスノデ、稅率
ヲ簡素化ニ致シタヤウナ次第デゴ
ザイマス、全體ト致シマシテ租稅
ノ生命デアアル公正ヲ害スルヤウナ
簡素化ハ致シテ居ナイ積リデゴザ
イマス

○宮澤委員 只今ノ私ノ質疑ニ對

シマシテ御答ヘガアツタ譯デアリ
マスガ、之ニ付テハ又更ニ他ノ委
員ノ方カラ何處ノ點ガ不均衡デア

リハシナイカト云フ御質問ガアラ
ウト思ヒマスノデ、私ハ此ノ程度
デ打切ト致シマシテ、次ニ所得額
ヲ過大ニ見積ツテ居ハシナイカ、
過大ニ見積ル際ニ於キマシテハ歲
入ニ缺陷ヲ生ジヤシナイカ、斯ウ
シタ場合ドウスルカト云フヤウナ
コトヲ御尋ネスルノデアリマス、
今回ノ稅制改正ハ先ヅ國ノ財政ニ
鑑ミテ百六十億ノ稅ノ收入ヲシナ
ケレバナラナイト云フコトデ、凡
ユル稅率ノ引上ト云フヤウナコト
ヲ致シ、又國民ノ財政經濟ノ推移
カラ言ツテ、所得ガ十分多クナツ
タト云フヤウナ意味合カラ百六十
億ノ見積ラレ、殊ニ我が國ノ稅ノ
中核デアリ或ハ基礎ヲ置イテアル
所ノ所得稅ガ一番ノ大キナ稅ノ收
入ニナツテ居ル譯デアリマスカ
ラ、之ニ或ハ齟齬ヲ來ス、或ハソ
レダケノ收入ガナカツタト云フヤ
ウナ場合ニ大ナル所ノ缺陷ヲ生ジ
ヤシナイカ、杞憂デアアルカモ知
ラマセヌガ、サウ云フコトヲ考ヘ
譯デアリマス、大藏大臣ハ本年ハ
國民ノ總所得ハ二千億デアルト言
フ、又本年ノ増稅ハ二十四億デア
ルガ、平年ハ三十億デアルト云フ
ヤウナコトヲ申サレテ居ル譯デア
リマスガ、先程申シマシタヤウ
ニ、失業ガ一千萬人ニモ及バン
トシテ居ル今日、失業ガアルト
云フヤウナコトデハ、所得ハ失業
者ニハナイ譯デアリマスカラ、二
千億ノ所得ノ見透シト云フヤウナ

コトハ過大デアリハシナイカト云
フコトハ私ハ申ス譯デアリマス、
サウシタ場合ニ國ノ財政ニ非常ナ
影響ヲ及ボス、支那事變ノ起ル昭
和十二年ノ國民所得ハ百十五
億、次ノ年ハ我が國ノ戰力增強ヤ
其ノ他ノ關係カラ二百二、三十億
ニナツタト云フヤウナコトデ、遂
ニ増加致シマシテ、只今ニ及ンダ
譯デアリマススケレドモ、是ガ終戰
後ノ、殊ニ明年頃カラハ私ハ非常
ナ不景氣ガ參ルト云フヤウナコト
ヲ考ヘル譯デアリマシテ、其ノ場
合ニ本年ハ先ヅ二千億、假ニ過大
デアリト致シマシテモ次ノ年カラ
ハ相當ニ所得ガ減ツテ參リハシナ
イカト云フコトヲ考ヘルノデアリ
マス、斯ウシタ場合ニ本年ノ稅制
ノ改正ハ本年一年ダケデアアルカ、
次ノ年ニハ又改正ヲシテ國ノ財源
ヲドレダケ求メナケレバナラナイ
ト云フ場合ニハ稅率ヲ改正シテ高
率ニシテ貫ハナケレバナラヌト云
フコトニ參ルト考ヘル、此ノ稅制
改正ハ本年一年行フダケデ、明年
ハ更ニ改正ヲシテ行カナケレバナ
ラナイカ、或ハズツト數年間此ノ
稅率ヲ行ケルカドウカト云フヤウ
ナ見透シト、二千億ノ所得ガ必ズ
アルカドウカ、是等ノ點ニ付テ御
所見ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○池田(勇)政府委員 御質問ノ第

一點ハ昭和二十一年度租稅收入百
六十三億圓ハ見積リ過大デハナイ
カト云フ點デゴザイマス、昭和二十

十一年度ニ付キマシテハ、既二年
度モ三分ノ一餘リヲ經過致シテ居
リマス狀態デ、大體、今年度ノ租
稅收入ハ見積リガ立ツテ居ルノデ
アリマス、而モ租稅ノ内容ニ付キ
マシテハ、昨年ノ實績ニ依リマシ
テ課稅致シマスル稅ニ付キマシテ
ハ例ヘバ所得稅ノ附加課稅分、或
ハ綜合所得稅分ハ既ニ決定シタノ
ヲ根據ニ致シテ居リマス、又勤勞
所得稅等ニ付キマシテハ最近ノ狀
況ヲ見マシテ、大體月ノ收入ノ十
二倍程度ヲ見込ンデ居リマスノデ
是レ亦非常ナ減收ヲ來スヤウナコ
トハ考ヘテ居リマセヌ、唯法人稅
ニ付キマシテハ昨年八月以來殆ド
法人ハ缺陷ヲシテ居ル狀態デゴ
ザイマスノデ、此ノ點ニ付キマシ
テハサウ云フ事情ヲ能ク考慮致シ
マシテ、減收ヲ前以テ見込ンデ居
ル次第デアリマス、間接稅ニ付キ
マシテモ大體最近ノ消費狀況ヲ見
マシテ適正ニ見積ツテ居リマスノ
百六十億圓ノ昭和二十一年度ノ租
稅收入ハ多クナルトモ少クハナラ
ナイト考ヘテ居リマス

第二點ハ國民總所得ガ二千億ア

リヤ否ヤト云フ問題デゴザイマ
ス、國民所得ノ計算ハ非常ニ厄介
デゴザイマシテ、我が國ニ於キマ
シテモ昭和十年ニ内閣統計局ガ非
常ニ綿密ナ調査ヲ致シマシテ百四
十五億ト發表致シマシタ、其ノ後
議會デ國民所得ノ問題ガ起キマシ
タ時ハ大藏省ト致シマシテハ、課

税ノ増加分ヲ昭和十年ヲ基準ト致シマシテ此ノ程度ニアルダラト云フコトヲ發表致シテ居リマス、昭和十七年、十八年、十九年ハ課税ノ資料ニ依ラズ、政府ノ財政計畫其ノ他カラ各種ノ資料ヲ勘案致シマシテ例ヘバ昭和十八年ニハ五百億圓、十九年ニハ六百億圓ト云フ數字ヲ發表致シテ居ルノデゴザイマス、只今御話ノ二千億ト云フノハ、サウ云フ説モアルト云フ程度ニ私ハ聞イテ居リマシテ、自分ト致シマシテモ昭和二十一年度ノ國民所得ガ二千億アルカナイカト云フ點ニ付キマシテハ研究致シテ居リマセヌ、折角大藏省全體トシテ只今研究ヲシツ、アル狀態デアリマシテ、二千億ヲ基準ニ所得稅等ノ租稅收入ヲ見込シテハ居ナイノデゴザイマス

國民所得ガ二千億アルカナイカ分ラナイ、又ソレ以下ニナルト云フ場合ニ、昭和二十二年度以降ノ稅制ヲドウスルカ、是ガ御質問ノ第三點ト思ヒマスルガ、租稅制度竝ニ租稅收入ト云フモノハ、其ノ國ノ國民經濟、産業機構、其ノ他各般ノ事情ヲ考慮致シマシテ考ヘルベキ筋合ノモノデゴザイマス、敗戦後ノ我が國ノ經濟機構ガ如何ニナルカ、ドウ云フヤウナ在リ方デ現ハレテ參リマスカ、具體的ニ申シマスト財界整理後ノ經濟機構、産業機構、又財産稅徵收後ノ富ノ配分狀況等ヲ考ヘマシテ、歲

出ヲ見ナガラ來年ハ考ヘテ行キタイト考ヘテ居リマス、只今ノ稅制ハ一部ニ非常ニ行詰ツテ居ル、モウ是レ以上ノ稅率ノ増加ハ出來ナイト云フコトヲ言ハレテ居リマス、我々モ其ノ點ニ付キマシテハ同感ノ點ガ多イノデアリマス、明年度ニ於キマシテハ外ノ國ト比ベマシテ非常ニ行キ過ギテ居ル、主トシテ關稅稅ニ付キマシテハ所詮稅率ノ低下ヲ圖ラナケレバナラナイヤウナ狀態ニナルノデハナイカト思ヒマス、又直接稅ニ於キマシテハ私ハ必ズシモ絶頂マデニ行ツテ居ルハ考ヘテ居リマセヌ、來年ノ歲出等ヲ見比ベマシテ、明年度行フ稅制改正ニ付キマシテハ、篤ト經濟事情ノ在リ方等ヲ考ヘテ研究致シテ居ル次第デアリマス

ト致シマシテハ前ノ年ニ所得ガ如何ニアツテモ、其ノ次ノ年ニガタ落チニナルト所得稅ニ對シテモ、又營業稅ニ對シテモ納稅スルコトハ困難デアルト云フヤウナ事情モ起キテ參ル譯デアリマス、殊ニ本年ハ總所得ガ二千億アル、明年ハ此ノ二千億アツタト云フコトヲ推定シ、或ハ其ノ說ニ依ツテ明年課稅スルト云フヤウナ場合ニハ、或ハ明年ノ納稅ガドウナルカト云フヤウナコトモ、是ハ疑ヒヲ持タナケレバナラナイ譯デアリマシテ、此處デ色々トソレガ宜イトカ思イトカ云フヤウナコトデ、私ハ食ヒ下ル積リハナイノデアリマスケレドモ、說デアルト云フヤウナコトヲ、ア、云フ本議場デ發表サレルコトハ如何カト存ズル譯デアリマシテ、殊ニサウシタ場合、明年ノ所得ヲ本年ノ二千億ノ計算デ推定サレル、或ハ稅ノ基準ニ置クト云フヤウナコトニナリマス、ソコニ非常ニ缺陷ヲ生ズルト云フコトヲ考ヘルモノデアリマシテ、私ハ別ニソレガ善イ點イト云フコトニ付テ詰問スル譯ハナイケレドモ、私ノ意見ヲ申上ゲテ次ノ問題ニ移リタイト思フノデアリマス

ノ税金モ上ゲルト云ルコトニナレバ、勤勞所得稅モ百分ノ十八カラ二十ニ引上ゲルコトモ私ハ敢テ反對ハ致サナイノデアリマスケレドモ、サウシタ關係ニアル今日、勤勞所得稅ヲ十八カラ二十ニスルト云フコトハ、是ハ非常ニ殘酷デハナイカト云フコトヲ私ハ考ヘルモノデアリマス、殊ニ勤勞者ガ物價ノ昂騰ト云フヤウナコトカラ生活ノ難ノ爲ニ、生活保護ニ要スル待遇改善デアルト思フノデアリマシテ、凡ユル待遇ノ改善ヲ致シマシテモ、生活ガ困窮デアルカラ、生活何トカヤツテ行カナケレバナラヌト云フヤウナコトデ、待遇ノ改善ヲシタ、決シテ其ノ待遇ノ改善ガ餘裕ガアツテ貯蓄ニ廻ルトカ、貯金ニ廻ルトカ云フコトデナイ、生活ノ爲ニ要スル譯デアリマスカラ、待遇ノ改善ヲシテ行カナケレバナラナイト云フコトデ、待遇ノ改善ガ行ハレテ居ル譯デアリマスケレドモ、斯ウシテ待遇ノ改善ヲ致シマシテモ、稅ニ依ツテ更ニ是ハ增稅ヲサレルト云フコトニナリマス、唯財布ノ中ニ多クノ金ヲ入レルノミデアアル、勿論全部税金ニ納稅スル譯ハナイノデアリマスケレドモ、サウシタコトモ考ヘラレル譯デアリマシテ此ノ税金ハ先ヅ勤勞者ノ生死ニ及ボスシタコトハ是ハ不適當デアル、昨日モ上林山君カラ色々ナ御話ガア

○宮澤委員 只今ノ御答辯デアリマスガ、數次ニ百ツテ大藏大臣ハ國民ノ總所得ガ二千億デアルト云フコトヲ、本議場ニ於テモ御説明ニナリ、其ノ他ノ委員會等ニ於テモ御意見ノ發表ガアツタ譯デアリマスガ、只今ノ御答辯カラ參リマストサウ云フ説モアルト云フヤウナ御話デアリマス、殊ニ稅ノ負擔ト云フコトハ勿論只今ノ御答辯ノヤウニ、昨年ノ所得ニ依ツテ本年課稅スルト云フコトニナツテ居ツテ、先ヅ只今ハ「インフレ」デアルカラ金ノ廻リモ宜イト云フコトデ、本年ハサウシタ心配ハナカラウカト思フノデアリマスガ、平年

次ニ勤勞所得ノ引上ゲデアリマシテ、凡ユル稅率ノ中所得稅ノミデナイノデアリマスガ、撤廢ヲシ廢止ヲシタ税金モアル、又稅ヲ比較的下ゲタノモアリ、上ゲタノモアルト云フヤウナ關係デ、一律ニ下

ツタ譯デ、或ハ下ゲルコト、或ハ累進課稅ニ依ツテ引上ゲテ、三十ニスルト云フヤウナ御意見モアツタ譯デアリマスケレドモ、此ノ今ノ課稅ノ事務的關係カラノ簡素化、或ハ是ハ勤勞所得デアルカラ一律ノ稅デ宜シイト云フ見方カラ參リマシテ、是ハ昨年位ハ是ハ仕方ナイケレドモ、生活改善ヤ色々ドウシナモ生活困難ニナツテ居ル今日稅ヲ此ノ分カラ徵稅スルト云フコトハ不當デハナイカ、ト考ヘマシテ、是ハ先ヅ十八ニシテ置クコトガ適當デアラウ、モツト下ゲタイノデアリマスケレドモ、昨年ノ例ダケハ仕方ガナイケレドモ、上ゲルト云フコトヲ本年考ヘルベキコトデハナイ、先ヅ十八ニシテ減キタイト云フコトヲ主張スルモノデアリマスガ、御所見ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○池田(勇)政府委員 勤勞所得稅ノ引上ハ不當デアリ、實情ニ副ハヌデハナイカト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、租稅ハ廣ク國民ガ其ノ分ニ應ジテ納稅スルト云フコトガ私ハ一番必要デアリ、又稅務ノ民主化カラ申シマシテモサウ云フ方向ヘ進マナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、勤勞所得稅ハ今國民所得ノ中ノ相當部分、或ハ一番大キイ所得デアルノデアリマス、而シテ勤勞所得稅デアツテモ、只今申上ゲマシタ其ノ分ニ應ジテ負擔スルト云フコトハ

否定出來ナイト思ヒマス、唯勤勞所得稅ハ資産所得トカ、或ハ事業所得トハ其ノ所得ノ性質カラ考ヘマシテ、増稅力ガ少イト云フコトハ、是ハ勤勞カスベカラザル事柄デゴザイマス、隨テ今回ノ増稅ニ於キマシテモ、他ノ所得ガ相當増稅セラルル場合ニ於キマシテハ、勤勞所得者モ或ル程度ノ負擔ノ增加ハ已ムヲ得ナイト考ヘマシテ、資産所得ニ付キマシテハ、大體原則トシテ百分ノ七事業所得ハ百分ノ四引上ガマシタノヲ、勤勞所得ニ於キマシテハ、百分ノ二止メタ次第デゴザイマス、而モ昨年ノ同ジ金額ニ對シマスル所得稅額ト今年ノトハ過日モ申上ガマシタヤウニ、三月九日ニ基礎控除ヲ五十圓カラ二百圓ニ引上ガマシタ關係上、實際ノ負擔ハ昭和二十年分ヨリモ二十一年分ノ方ガ低クナツテ居ル次第デアリマス、勿論是ハ二萬圓以下ノ所得者ニ對シテデアリマス、サウ云フ狀況デアリマスノデ、此ノ際國庫ノ歳出ガ非常ニ殖エテ參リマス時ニ、勤勞所得者モ已ムヲ得ナイコトトシテ御諒承願ヒタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

ドウスルカト云フヤウナコトニ付テ、農林省ト大藏省ガ色々ノ決定ニ付テハ協調、或ハ御相談ノ上デ決メラレコトヲ御伺ヒシテ居ルノデアリマスルガ、近年食糧ガ非常ニ不足シテ參ツタト云フコトカラ順次下ツテ、多クノ年カラ考ヘルト、私ハ先ツ五分ノ一以下ニナツテ居ルト云フヤウナ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、決シテ私ガ酒ヲ好ンデ酒ヲ多ク飲ミタイカラ酒ヲ多ク造レト云フコトデハナイノデアリマス、是ハ一石何鳥ト云フヤウナ見地カラ見マシ申上ガルノデアリマスガ、酒ノ造石ヲ減ジ、又ハ禁止シタ場合デアリマシガ、斯ウシタ場合ニ酒ヲ造ラサナイカラ米ガソレダケ飯米ノ方ニ廻ルカト云フト、決シテ私ハサウデハナイト斯ウ云フ風ニ考ヘルモノデアリマス

私ハ今度コチラヘ參ツテカラ、凡エル方面カラ御聽キシタコト、又私ノ考ヘテ居ルコトカラ綜合シテ申上ガル譯デアリマシケレドモ、先ツ酒造家ノ方面ノ觀點カラ致シマス、酒ガ非常ニ少ナクナツタ爲ニ密造ガ非常ニ殖エテ參ツタト云フコトヲ聽イタノデアリマシガ、酒ヲ飲ム人ハドウシテモ飲マナイデハ居ラレナイト云フノデ、何等カノ方法デ酒ヲ飲ム、或ハ「アルコール」ニ水ヲ入レテ飲ムトカ云フヤウナコトモ致スヤウデアリマスガ、是ハ國民ノ健康保

健ノ上ニ付テモ非常ニ影響ガアルシ、全ク清酒デナケレバナラヌ、本當ニ醸造シタモノデナケレバナラナイト云フヤウナ事柄モ考ヘルノデアリマスガ、國民ノ健康保健ト云フヤウナ意味合カラ、或ハ濁酒デアルトカ、或ハ「メチール」ニ水ヲ入レテ飲ムトカ

是方國民ノ健康ニ影響ヲ及ボスト云フコトデハナラナイ譯デアリマス、ソレカラ又六十五萬石或ハ七十萬石ト云フヤウナ酒ノ造石ノ少ナイ爲ニ、此ノ頃私ガ御聽キシタ所カラ參リマシト、先ツ二百萬石ハ米ヲ密造シタダラウト云フヤウナコトデアリマス、非常ニ大キナ數字ニナツテ居ル譯デアリマス、酒ノ釀造ノ造石カラ參リマシト、全ク三倍ノ密造ノ造石ガアツタダラウト云フコトハ、決シテ米ヲ浮上ラセル策デハナイト云フコトヲ私ハ聽イタノデアリマシテ、是ハ勿論大藏省關係カラ參リマシレバ、酒ヲ多ク造ラシテ多クノ稅收入ヲ得タイト云フ意圖デアアルカト思フノデアリマシケレドモ、農林省ガ今ノ食糧事情ノ爲ニ中々酒ニ廻スコトガ困難デアルト云フコトデ、何時モ頑張ルト云フヤウナコトモ御聽キシテ居ル譯デアリマシケレドモ、實際是ハ消極的ノ本當ノコトヲ知ラナイモノデアツテ、殊ニ大藏省關係ニ於キマシテ

ハ密造關係ナドモ十分ニ御承知ノコトト思フ譯デアリマシテ、是ハ酒ノ造石ヲ増石スルコトガ私ハ先ツ増稅ニナルコトデアアル、密造ヲ防止スルコトデアアル、米ノ闇ノ消費ヲ防止スルコトデアアル、ソレカラ又二ツハ生産ノ増強ニナル譯デアリマスガ、酒ノアルトナイトデ、或ハ農蠶業ヲ營ムモノ、或ハ林業ヲ營ムモノ、何レモ家ニ歸ツテ一杯ノ酒ガアルト云フコトデ、其ノ元氣、夕方或ハ日ノ暮レ方ニ於ケル勵ミ方ガ違フ、又一杯ヤツ夕後ノ能率ノ上リ方ガ違フト云フヤウナコトデ、生産ノ増強ニナル、是ハ實際問題デ、理窟ダケデハナイ、理窟デハ、酒ヲ造ラナイデ、其ノ分、或ハ百萬石或ハ百二十萬石ヲ飯米ノ方ニ廻セバソレダケ宜シヤウデアリマシケレドモ、是ハ決シテ今ノ理窟通りデハナクテ、其ノ内面ニ入りマシト、只今申上ガタヤウニ密造スルト云フコトデ、米ガ闇ニ消費サレテシマフト云フコトニモ相成ルノデアリマシシ、徵稅ノ方ノ關係モ増稅ニモナリ、密造ノ防止ニモナリ、生産ノ増強ニモナルト云フヤウナ關係カラ増石スル意圖ハナイカト云フコトヲ實際ノ實例カラシ

テ、稅金ノ増徴ト云フコトニモ相成ル譯デアリマシテ、此ノ點ヲ大藏省ハ特ニ強調シテ、農林省ト造

石ノ計畫ヲ立テラレタラドウカト云フコトヲ申上ガル次第デアリマシテ、此ノ御所見ヲ御聽キスルノデアリマス

○池田(勇)政府委員 酒ノ效用ニ付キマシテハ官澤委員ノ御説ノ通りデアリマシテ、我々モ酒ガ増産ニ役立ち、又國民生活ノ明朗化ニ非常ニ寄與シテ居ルト云フ點ハ認メ、毎年農林省等ト交渉致シマシテ、米、甘藷、大麥其ノ他ノ雜原料ノ割當ニ努メテ居ルノデゴザイマス、併シ一方食糧關係ガ非常ニ逼迫致シテ居リマスノデ、累年酒ニ出シマス米麥、甘藷等ハ減ツテ參ツテ居リマス、昨年度ハ清酒ニ付キマシテハ、六十五萬石ノ配給ヲ受ケ、麥ニ付キマシテモ、即チ「ビール」用ノ、麥ニ付キマシテモ三十數萬石、甘藷ニ付キマシテハ一億五百萬貫ノ割當ヲ受ケタノ割餘リ、千七百萬貫シカ酒造ニ配給ニ相成リマセヌ、「ビール」モ其ノ後ノ情勢ガ變ツタノデ、半分以下ニナルヤウナ狀況デゴザイマス、出來ルダケ酒ヲ造リ、生産増強ノ原動力トシ、又密造防止等カラ考ヘマシテ努力致シテ居ルノデアリマスガ、只今ノ狀況ト致シマシテハ、我々ノ努力ニ拘ラズ、食糧事情ガ如何ニ相成リマスカニ依リマシテ、餘程此ノ酒ニ割當テラレル米、麥、甘藷等モ減ツテ來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス、

著席

〔委員長退席、深津委員長代理〕

二五

唯我々希望ヲ繁イデ居リマスノハ、今年ノ米ハ昨年度ニ比ベテ餘程増收ヲ豫想セラレ、甘藷ニ付キマシテモ非常ニ好イ「ニユース」ガ入ツテ居リマスノデ、出來得マズレバ昨年以上ニ作りタイト云フ希望ヲ持ツテ努力致シテ居ル次第デゴザイマス

○富澤委員 只今私ノ申上ゲタノハ決シテ飯米ヲ廻シテ酒ヲ造レト云フコトデハナイ、斯ウシテ尙ホ米ガ浮キ上ルト云フヤウナ、飯米ニ多ク廻ルヤウナ意味合カラ申上ゲタコトデアリマスカラ、委員ノ方々ト致シマシテモ、或ハ政府ノ方々ト致シマシテモ、誤解ノナイヤウニ願ツテ置キタイト思フ譯デアリマス、酒ヲ多ク造ツテ飯米ヲ少クシロト云フ意味デハナイノデアリマス

次ニ今一、二點御聽キシタイノデアリマスガ、物品税ノ徵稅方法ニ付テデアリマス、書畫骨董ノ税金ヲ私ハ色々ノ説明書カラ見マスト、非常ニ下ツタヤウニ思フ譯デアリマス、事實サウデアツタナラバ、書畫骨董ノヤウナ贅澤品ニ付テドウシテ下ゲタカト云フコトヲ御聽シタイノデアリマス、百分ノ六十或ハ百分ノ八十カラ百分ノ二十ニシタト云フヤウニ私ハ見テ居ル譯デアリマスガ、是ガ其ノ通りデアツタナラバ書畫及ビ骨董ノ税金ヲ下ゲタ理由ハドウデアルカ、ソレカラ又其ノ次ニ物品税ノ小賣

課稅ヲ廢シタ譯デアリマスガ、現在物品税ノ課カルベキ性質ノ物品ガ小賣商人ノ棚ニアル分ニ對シテハドウ云フ風ニナサレルカ、若シ其ノ調査ヲシテ、税金ヲ課ケルト云フコトデアツタナラバ、其ノ徵稅方法ヲ一度ニサレルカ、或ハ分割デスルカ、或ハ賣ツタ後ニ納メルト云フヤウナコトニナルノデアアルカドウカ、ソレヲ御聽キシタイノデアリマス、次ニ洋服ヤ蒲團其ノ他ノ税金ハ改正後ハドウナルカ、是ハ全部織物税ノ方ニ、洋服ノ生地ハ課ケテシマフカラ、洋服ノ方ニ物品税トシテ課ケナクテモ宜シト云フコトニナルカドウカ、洋服、蒲團ト云フヤウナ税金ニ付テハ、今度ハツキリシナイ譯デアリマス、是等ノ點ニ付テハモウ既ニ織物消費税ノ方ニ課カリマスカラ、是ハモウ課ケテアルノデアアルカト云フコトヲ御聽キシタイノデアリマス、ソレカラ尙ホ現行法ノ二本建方今度一本建ニナツテ、或ハ織物消費税ヲ課ケテ十五ガ四十五ニナツタ、物品税或ハ小賣稅トカ、サウ云フモノヲ課ケナイデ一本ニシタ爲ニ四十五ニナツタト云フヤウナ關係デ、是ハ大體似タ税金デアルカ、或ハ斯ウ云フ風ニシタガ爲ニ非常ニ増稅ニナツテ居ルカト云フヤウナ點ヲ御聽キシタイト存ジマス

十、ソレカラ百分ノ二十ト、段々上ゲテ參リマシテ、現在デハ百分ノ六十ノ稅率デ課稅致シテ居リマス、又其ノ價格ガ八百圓以上デアツタ場合ニハ之ヲ百分ノ八十ノ特別稅率デ課稅致シテ居ルノデアリマス、併シ課稅ノ實情ヲ見マストト云フト、是ハ段々課稅物件ガ減ツテ參リマス、サウシテ實際ハ非常ニ附稅ガ行ハレテ居ル、斯ウ云フ點カラ考ヘテ見マスト、書畫骨董ノ如キ純然タル消費物資デナイ輾轉流通スル可能性ノ多イ物ニ、高率ノ消費稅率ヲ課稅スルト云フコトハ適當デナイ、斯ウ云フ考ヘ下ニ百分ノ六十ヲ百分ノ二十ニ引下ゲタ次第デゴザイマス、隨ヒマシテ今後ト致シマシテハ、業者ニ納稅團體ヲ作ラセテ、荷クモ業者間ニ於ケル取引ニ付キマシテモ全然脫稅ノナイヤウナ機構ヲ備ヘ、サウシテ取引方正々堂々明ルミニ出テ來ルヤウニ致シタイ次第デゴザイマス

○池田(勇)政府委員 書畫骨董ニ付キマシテハ、從來最初ハ百分ノ

際課稅ヲ廢メタ次第デゴザイマス、隨ヒマシテ小賣業者ノ所持スル商品ハ如何ニスルカ、此ノ點ハ經過規定デゴザイマス附則ニ規定致シテ居リマス、即チ小賣業者ヲ製造者ト看做シマシテ、在庫品ニ付キマシテ課稅ヲ致スコトニ致シテ居リマス、併シ一度ニ課稅致シマスルト、納稅ニ困難ヲ來シマス爲メ、之ヲ分納デ納メ得ル規定ヲ置イテ居ル次第デゴザイマス、次ニ洋服、蒲團ニ付テ、尙ホ物品税ヲ課稅スルカト云フ御話デゴザイマスルガ、洋服ヤ蒲團等ニ付テハ從來物品税ヲ課稅致シテ居リマシタガ、今回ハ織物消費税ト、織物ニハ物品税ヲ課稅致シマセヌ、織物消費稅タケニ相成ツタノデゴザイマス、最後ニ織物消費稅ノ四十分云フ稅率ハドウ云フ所カラ出タカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、從來織物消費稅ハ取引價格ノ百分ノ十五デゴザイマシテ、物品税ニ付キマシテハ小賣價格ノ百分ノ四十デアツタノデゴザイマス、隨テ百分ノ四十ト十五ヲ加ヘマスト百分ノ五十五ニナルノデゴザイマスルガ、先程申上ゲマシタヤウニ、日本ノ關稅ハ相當高クナツテ居リマシテ、最高百分ノ百二十ヲ百分ノ百ニ引下ゲマシタ關係ト、又織物ノ價格ハ非常ニ上ツテ居リマスノデ、此ノ際稅率百分ノ

第二ノ物品税ノ小賣課稅ヲ廢メタノハドウカ、是ハ只今、御承知ノ通り、小賣課稅ト製造課稅ニ分レテ居リマスガ、徵稅ガ煩雜デアリマスルノト、課稅ノ適正ガ十分期シ得ラレマセヌノデ、此ノ際稅制ノ簡素化等ノ意味カシ考ヘマシテ、小賣課稅ヲ製造課稅ニ統合致シタ次第デゴザイマス、唯、製造課稅ニ不適當ナ花輪トカ、益裁、或ハ果物等ニ付キマシテハ、此

五十五ニナリマスノヲ、百分ノ四十二止メ置イタ次第デゴザイマス、隨テ織物ニ對シマスル間接稅ハ輕減セラレタコトニ相成ルノデゴザイマス

○富澤委員 色々細カイ質疑ヲ致シマシテ、ソレニ對シテ答辯ノ方ガ尙ホ丁寧ニシテ戴イタト云フコトハ私感激ニ堪ヘナイノデアリマス、大藏省關係ニ付キマシテハ以上デ終リト致シマシテ、次ハ内務省關係ノ地方分與稅ノ關係ニ付テ三、四質疑ヲ致シタイト思フノデアリマス、質疑ヲ致ス大體ノ要點ハ、戦後ノ地方財政ト其ノ對策ニ付テ御聽キシタイコトト、二ト致シテ國民學校、青年學校ノ教職員ノ待遇ニ付テ、其ノ負擔區分ニ付テ御聽キシタイノデアリマス、尙ホ三ト致シマシテ、今回ノ地方制度改正並ニ分與稅法ノ改正後、市町村財政ニ對シテ全額賄ヒ得ル見透シデアルカドウカ、ソレカラ又地方稅制ノ改正目標ハ何處ニアツタカ、ソレカラ五ト致シマシテハ市町村民稅ノ最高納稅額ノ賦課ニ付テハ前ニ制限額ガアツタノデゴザイマスガ、制限額ガ撤廢共レテ、今度ハ其ノ制限ニ付テハ監督ヲシテ參ルト云フコトデアリマスカラ、此ノ方針ヲ御聽キシタイノデアリマス、六ト致シマシテ配付稅ノ改正ハ市ニ非常ニ重クテ農村ヲ非常ニ輕ク見テ居ルト云フコトデ、農村ノ財源ヲ市ニ持ツテ行

際課稅ヲ廢メタ次第デゴザイマス、隨ヒマシテ小賣業者ノ所持スル商品ハ如何ニスルカ、此ノ點ハ經過規定デゴザイマス附則ニ規定致シテ居リマス、即チ小賣業者ヲ製造者ト看做シマシテ、在庫品ニ付キマシテ課稅ヲ致スコトニ致シテ居リマス、併シ一度ニ課稅致シマスルト、納稅ニ困難ヲ來シマス爲メ、之ヲ分納デ納メ得ル規定ヲ置イテ居ル次第デゴザイマス、次ニ洋服、蒲團ニ付テ、尙ホ物品税ヲ課稅スルカト云フ御話デゴザイマスルガ、洋服ヤ蒲團等ニ付テハ從來物品税ヲ課稅致シテ居リマシタガ、今回ハ織物消費税ト、織物ニハ物品税ヲ課稅致シマセヌ、織物消費稅タケニ相成ツタノデゴザイマス、最後ニ織物消費稅ノ四十分云フ稅率ハドウ云フ所カラ出タカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、從來織物消費稅ハ取引價格ノ百分ノ十五デゴザイマシテ、物品税ニ付キマシテハ小賣價格ノ百分ノ四十デアツタノデゴザイマス、隨テ百分ノ四十ト十五ヲ加ヘマスト百分ノ五十五ニナルノデゴザイマスルガ、先程申上ゲマシタヤウニ、日本ノ關稅ハ相當高クナツテ居リマシテ、最高百分ノ百二十ヲ百分ノ百ニ引下ゲマシタ關係ト、又織物ノ價格ハ非常ニ上ツテ居リマスノデ、此ノ際稅率百分ノ

五十五ニナリマスノヲ、百分ノ四十二止メ置イタ次第デゴザイマス、隨テ織物ニ對シマスル間接稅ハ輕減セラレタコトニ相成ルノデゴザイマス

カレテ、農村ハ不足シハセヌカト云フコトヲ御聽キンタイノデアリマス

先ヅ第一ニ戦後ノ地方財政ト其ノ對策デアリマスガ、府縣市町村ノ財政ハ極度ニ膨脹シテ參ツタコトハ申上ケルマデモナイノデアリマシテ、殊ニ政府ハ現在行ヒツ、アル臨時手當引上、更ニ給與ノ根本的ノ改正ヲ行ハントシテ居ルヤウデアリマスガ、將來地方職員モ同様ニ政府ノ方針ニ倣フテ參ラナケレバナラナイト云フコトヲ考ヘルモノデアリマスガ、是等ハ今回ノ地方税法ノ改正ノ税率ニ依ツテ徵稅徵稅スルモノト、分與税法ノ改正ノ配付ト十分賄ヒ得ルカドウカ、本年度ハ一寸不可能デアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、其ノ見透シニ付テノ所見ヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○郡政府委員 戦後ノ地方財政ニ付キマシテハ、差當リ戦災ニ依リマシテ地方財政ガ減收等ノ結果、經理ニ支障ヲ來シハセヌガラウカト云フ問題、ソレカラ今後ニ於キマスル戦災ノ復興等ノ基本的な問題、此ノ二ツニ分ケテ考ヘルコトガ出來ルガラウト思フノデアリマス、而シテ後者ノ今後ノ戦災復興等ニ關シマスル問題ニ付キマシテハ、地方財政ト致シマシテモ負擔致ス所ガ極メテ大キイノデゴザイマス、假ニ起債等ニ依リマシテモ其ノ償還等ニ十分ナル裏打ちヲナ

シ得ルカドウカト云フ點ニ付キマシテハ、ヨリ根本的ナ財政ノ樹立ヲ必要トスルト思フノデアリマス、唯當面ノ昭和二十一年度ニ於キマスル戦災ニ因ル地方財源ノ喪失、或ハ終戦後ニ於ケル新規財源需要ニ對シマスル財源ノ附與、是等ノコトニ關シマシテハ三稅ノ増稅或ハ府縣民稅、市町村民稅ノ設定、更ニ稅外收入ノ增收ヲ圖ルトカ、相當大ナル配付稅ノ増額、是等ノコトニ依リマシテ決シテ地方財政ニユトリガ出來タトハ私ハ申セナイト思フノデアリマスケレドモ、差當ツテノ經理ニハ支障ナキヲ得ルノデアリナイガラウカ、唯御指摘ニナリマシタ職員待遇改善ニ付キマシテハ今後ニ於キマシテモ相當多クノ財源ヲ要シ、是ガ今後ノ財政經理ヲ可能ナラシムルヤ否ヤノ境ニナルト思フノデアリマス、而シテ年度當初ニ豫見致シ得マスモノニ付キマシテハ待遇改善ノ部分モ織込デ居リマスケレドモ、年度途中ニ於キマスモノニ付テハ全額若シクハ極メテ大ナル國庫補助ヲ得マシテ、之ニ依ツテ經理ヲ致シテ參ラウト思フノデアリマス、隨ヒマシテ斯様ナコトニ依リマシテ當面ノ地方財政ノ運営ヲ確保致シ、銳意收支ノ均衡ニ努メマシテ、今後赤字公債等ニ依ラズニ地方財政ノ經理ガ出來ルヤウニ努力シテ參リタイト思ツテ居リマス

○宮澤委員 次ニ國民學校、青年學校ノ教職員ノ待遇ニ付テハ、府縣費ヲ以テ支辨スル法ノ建前デアリマスガ、現行ノ待遇デハ生活費ノ昂騰セル今日、市町村ニ於テハ其ノ情狀ヲ察シテ、或ハ六月デアルトカ九月デアルトカ、年末、年度末等ニ於テ、負擔區分ノ上カラ參リマストハ適當デハナイト存ズルノデアリマスケレドモ、名稱ヲ變ヘテモ支出シテ參ラナケレバナラナイト云フ實情ニアルノデアリマス、而モ其ノ金額ハ相當多額ヲ要スルノデアリマスガ、政府ハ地方財政ノ上ニ於テ是等ニ付テ考慮サレテ居ルカ、勿論法ノ建前カラ行ケバハ見テ居ラナイノデアリマスカラ、政府ト致シマシテハ勿論見テナイコトガ當然デアル、ケレドモ實情カラ參リマスト斯ウシタ支出ハ非常ニ多額ニ上ル譯デアリマシテ、是等ノ關係ニ付キマシテハ將來若シ此ノ法ノ建前カラシテ不適當ノ支出デアルト云フコトデ、名稱ヲ變ヘテ、何等カノ名稱ニ依ツテ出シナケレバナラナイノデアリマスカラ、斯ウ云フ不適當ノコトヲ是正スル意味合ヒニ於キマシテモ、國ニ於キ十分ニ是等ノ賄ヒ得ルタケノ財源ヲ與ヘルト云フコトヲ、又サウデアナイトシタナラバ斯ウ云フモノヲ豫メアラカラ斯ウシタ稅制ノ改正或ハ分與稅ノ配當、配付稅デ賄ヒ得ルト云フコトデ今度ノ改正ガサレテ居

ルカト云フコトヲ先ヅ御聽キンタイノデアリマス
尙ホモウ一ツ序デニ御伺ヒシテ置キマスガ、旅費デアルトカ、備品デアルトカ、消耗品、斯ウ云フモノノ普通ノ、學校以外ノモノデアリマスガ、斯ウシタ値上リモ非常ニ多イノデアリマシテ、是等ノ關係ニ付テモ十分ニ考慮サレテ居リマスカト云フコトヲ御伺ヒスルノデアリマスガ、只今ノ後申上ゲマシタノハ混同致シタノデアリマスガ、殊ニ今ノ國民學校ノ教職員ノ旅費ノヤウナモノニ付テハ配當ニシテアル譯デアリマスガ、是等ノ點ニ付テモ配當デハ實際ニ旅費ヲ支辨スルコトハ出來ナイト云フコトニナツテ居ルヤウニ考ヘマス、是等ノ點ニ付テ御所見ヲ御伺ヒシマス

○郡政府委員 國民學校、青年學校ノ職員ニ對シマスル手當ノ問題デアリマス、是ハ御話ニアリマシタ通り負擔區分ノ點カラ致シマスルナラバ、市町村ニ於テ支出スベキモノデアリナイト思フノデアリマスルケレドモ、終戦後ノ經濟事情ノ變化ニ對シマシテ政府職員ノ待遇改善ガ、殊ニ學校ノ職員ニ對シマシテ必ズシモ十分デナカウタ、生活費ノ昂騰ニ對シテ餘リニモ氣ノ毒ナ状態ニアル、斯様ナ見地カラ市町村カラ相當無理ヲシテ支出セラレテ居ル向キガアルヤウニモ承知致シテ居ルノデアリマス、併

シナガラ御話ノ中ニモアリマシタヤウニ、是等ノモノニ付キマシテ直チニ地方財源ノ裏打ヲスルト云フコトハ、事ノ性質上致シニクイモノデアリマス、寧ろ根本的ニ教職員ニ對シマスル待遇改善ガナラナケレバ相成ラヌノデアリマス、近ク特別待遇改善ト致シマシテ、平年度三億三千萬圓程ニ及ビマスル待遇改善ガ實施サレマス、之ニ依リマシテ、學校職員ニ對シマシテモ、恐ラク他ノ政府職員ト均衡ノ取レテ待遇改善ガ實施サレルト思ヒマス、左様ナ根本的ナ待遇改善ノ實施ニ依リマシテ、其ノ機會ニハ法令ニ基キマセヌデ、市町村ガ支出シテ居ル諸給與等ハ、寧ろ其ノ際ニ之ヲ整理致シ、左様ナ支出ヲ致サズトモ教職員ニ對シマスル十分ナ給與ノ出來ルヤウニ圖リタイモノト考ヘルノデアリマス、ソレカラ備品、消耗品、或ハ旅費等ニ付テノ御話デゴザイマシタガ、是等ノ昂騰ト云フモノモ確カニ著シイモノガアルノデアリマス、之ニ對シマシテハ、特

ニソレニ充テル財源ト云フモノヲ見込デハ居リマセヌケレドモ、戰爭中ニ要シマシタ諸經費ニ對シマスル財源カ必ズシモ全部、昭和二十一年度ニ落シテ居リマセヌノデ、若干ノ財源ノ餘裕等モ全體ノ計畫ノ上デハ見込デ居ルノデアリマシテ、唯斯様ナ諸經費ノ増加ガ完全ニ賄ヘ

テ居ルトハ申セナイノデアリマス
ケレドモ、此ノ點ハ十分考ヘナガ
ラ全體ノ財政計畫ヲ樹立シタト云
フコトハ申上ガテ宜シト思フノ
デアリマス

○官署委員

四ノ問題ハ後述シニ
シマシテ、五ノ市町村民税ノ最高
額ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイノデア
リマス、現行法ノ市町村民税ハ、
人口ノ七十萬以上ノ市ハ最高二千
圓デアツテ、其ノ他ノ市ハ千五百
圓、町村ハ十圓ト云フ一人ニ對ス
ル最高賦課額ノ制限デアツタノデ
アリマスガ、今回ノ改正法ニ依リ
マスト此ノ制限ハナイノデアリマ
ス、府縣ハ六十圓、市町村ハ四十
圓ト云フ一戸當リノ賦課ガ出來ル
コトデアリマスカラ、相當多額ナ
府縣民税或ハ市町村民税ニ相成ル
ノデアリマス、隨テ納稅義務者ニ
對スル最高ノ賦課モ相當ニ多クナ
ル譯デアリマスガ、是等ノモノニ
付テ殊ニ御承知ノ如ク市町村ノ財
政ガ今苦シクナツテ參ツテ居リマ
ス、隨テ税法ノ改正ニ依ツテ増稅
ガ出來タト云フコトデアリマスケ
レドモ、殊ニ民税ト云フノハ色々
トヤリニクイ税金デアアル、殊ニ大
正十一年ノ改正ノ時ノヤウナア、
云フ複雑シタモノハ、腰溜メデ行
クト云フヤウナ今ノ決定ト違ツテ
居ル議デアリマスガ、今度ノ村民
ノ改正、或ハ市町村民税、府縣民
税ノ改正ニ付テノ賦課方法ハ、ヤ
ハリ所得デアルトカ、或ハ住家ノ

建坪デアルトカ、或ハ其ノ人ノ資
産ノ算定トカ云フ風ニ行クコトデ
アルカ、ソレトモ唯腰溜メデ行ク
コトデアアルカ、ソレカラ今ノ最高
額ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイノデア
リマス、現行法ノ市町村民税ハ、
人口ノ七十萬以上ノ市ハ最高二千
圓デアツテ、其ノ他ノ市ハ千五百
圓、町村ハ十圓ト云フ一人ニ對ス
ル最高賦課額ノ制限デアツタノデ
アリマスガ、今回ノ改正法ニ依リ
マスト此ノ制限ハナイノデアリマ
ス、府縣ハ六十圓、市町村ハ四十
圓ト云フ一戸當リノ賦課ガ出來ル
コトデアリマスカラ、相當多額ナ
府縣民税或ハ市町村民税ニ相成ル
ノデアリマス、隨テ納稅義務者ニ
對スル最高ノ賦課モ相當ニ多クナ
ル譯デアリマスガ、是等ノモノニ
付テ殊ニ御承知ノ如ク市町村ノ財
政ガ今苦シクナツテ參ツテ居リマ
ス、隨テ税法ノ改正ニ依ツテ増稅
ガ出來タト云フコトデアリマスケ
レドモ、殊ニ民税ト云フノハ色々
トヤリニクイ税金デアアル、殊ニ大
正十一年ノ改正ノ時ノヤウナア、
云フ複雑シタモノハ、腰溜メデ行
クト云フヤウナ今ノ決定ト違ツテ
居ル議デアリマスガ、今度ノ村民
ノ改正、或ハ市町村民税、府縣民
税ノ改正ニ付テノ賦課方法ハ、ヤ
ハリ所得デアルトカ、或ハ住家ノ

建坪デアルトカ、或ハ其ノ人ノ資
産ノ算定トカ云フ風ニ行クコトデ
アルカ、ソレトモ唯腰溜メデ行ク
コトデアアルカ、ソレカラ今ノ最高
額ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイノデア
リマス、現行法ノ市町村民税ハ、
人口ノ七十萬以上ノ市ハ最高二千
圓デアツテ、其ノ他ノ市ハ千五百
圓、町村ハ十圓ト云フ一人ニ對ス
ル最高賦課額ノ制限デアツタノデ
アリマスガ、今回ノ改正法ニ依リ
マスト此ノ制限ハナイノデアリマ
ス、府縣ハ六十圓、市町村ハ四十
圓ト云フ一戸當リノ賦課ガ出來ル
コトデアリマスカラ、相當多額ナ
府縣民税或ハ市町村民税ニ相成ル
ノデアリマス、隨テ納稅義務者ニ
對スル最高ノ賦課モ相當ニ多クナ
ル譯デアリマスガ、是等ノモノニ
付テ殊ニ御承知ノ如ク市町村ノ財
政ガ今苦シクナツテ參ツテ居リマ
ス、隨テ税法ノ改正ニ依ツテ増稅
ガ出來タト云フコトデアリマスケ
レドモ、殊ニ民税ト云フノハ色々
トヤリニクイ税金デアアル、殊ニ大
正十一年ノ改正ノ時ノヤウナア、
云フ複雑シタモノハ、腰溜メデ行
クト云フヤウナ今ノ決定ト違ツテ
居ル議デアリマスガ、今度ノ村民
ノ改正、或ハ市町村民税、府縣民
税ノ改正ニ付テノ賦課方法ハ、ヤ
ハリ所得デアルトカ、或ハ住家ノ

○郵政委員

市町村民税ノ最高
賦課額制限ヲ撤廢致シタノハ、從
來ノ市町村民税ハ市町村ノ全住民
ノ負擔ノ分任、會費的性質ト云フ
點ニ特ニ重點ヲ置イテ參ツタ、隨
テ一人ニ對スル最高賦課額ヲ抑へ
テ參ツタノデアリマス、併シナガ
ラ現在ノ地方財政ノ狀況、殊ニ人
税ニ缺乏シテ居リマス地方税制全
體カラ考ヘマシテ、市町村民税ニ
付キマシテハ相當大幅ナ増稅ヲ致
シテ居リマス、隨ヒマシテ、一方
ニ於キマシテハ、從前ノヤウナ負
擔分任ノ精神ヲ能フ限リ顯現致リ
セマスト共ニ、一種ノ所得稅的ナ
收入ヲ擧ゲマスコトモ、其ノ重要
ナル目的ト相成ツテ參ツタ譯デア
リマス、而シテ、方所得稅ノ増率
ガ相當高ク、相當ノ負擔ガ累進的
ニ課カツテ參リマスコトヲ考ヘマ

○郵政委員

市町村民税ノ最高
賦課額制限ヲ撤廢致シタノハ、從
來ノ市町村民税ハ市町村ノ全住民
ノ負擔ノ分任、會費的性質ト云フ
點ニ特ニ重點ヲ置イテ參ツタ、隨
テ一人ニ對スル最高賦課額ヲ抑へ
テ參ツタノデアリマス、併シナガ
ラ現在ノ地方財政ノ狀況、殊ニ人
税ニ缺乏シテ居リマス地方税制全
體カラ考ヘマシテ、市町村民税ニ
付キマシテハ相當大幅ナ増稅ヲ致
シテ居リマス、隨ヒマシテ、一方
ニ於キマシテハ、從前ノヤウナ負
擔分任ノ精神ヲ能フ限リ顯現致リ
セマスト共ニ、一種ノ所得稅的ナ
收入ヲ擧ゲマスコトモ、其ノ重要
ナル目的ト相成ツテ參ツタ譯デア
リマス、而シテ、方所得稅ノ増率
ガ相當高ク、相當ノ負擔ガ累進的
ニ課カツテ參リマスコトヲ考ヘマ

スト、市町村民税ノ賦課ニ付キマ
シテハ、常ニ其ノ所得額等ヲ睨ミ
合ハセマシテ、十分是ト均衡ヲ保
ツテ參ルト云フコトガ必要タト存
ズルノデアリマス、左様ニ考ヘマ
スト、從來ノヤウナ一定ノ制限額
ヲ定額定メマシマスヤウナコトハ、
團體間ニ於キマスル最高納稅者ノ
所得ニモ著シキ程度ノ差ノアル現
狀カラ考ヘマシテ、却テ妥當ヲ缺
クト思ヒマス、隨ヒマシテ市町村
民税ノ賦課方法ト致シマシテハ、
只今ノ御指摘ノヤウナ各般ノ要素
ヲ加味致シマスルト共ニ、均等割
等ノ賦課額モ適當ノ枠ニ定メマシ
テ指導致シテ參リタイト思フノデ
アリマス、隨ヒマシテ從來ノ各市
町村ニ於キマス實際ノ賦課方法
等モ參酌ヲ致シ、又市町村民税ハ
幸ニ致シマシテ相當經驗ヲ經テ或
ル程度市町村ノ實體ニ即シマシタ
適當ノ結果ヲ得テ居ル、必ズシモ
全部トハ申セマセヌカ、大體ニ於
テハ或ル程度適當ナル結果ヲ得テ
居ル、サウ致シマスルト、此ノ度
増額ヲ致シマシタ分ハ、之ニ適當
ニ更ニ均等割ノ要素ナドモ加味致
シ、御指摘ノヤウナ各般ノ要素ヲ
加ヘマシテ、リウシテ、各市町村
ノ實情ニ應ジタヤウニ決メテ參リ
タイト思フノデアリマス、其ノ爲
ニ既ニ先般來各地方ノ主管ノ課長
等ヲ集メマシテ、屢ミ地方ノ實情
ヲ調査致シテ居リマシタ、更ニ大
綱ニ付キマシテハ適當ノ通牒其ノ

他ノ方法ニ依リマシテ示達ヲ致シ
マシテ、其ノ中更ニ府縣ヲシテ
其ノ縣内ニ於ケル市町村ノ實情ニ
即シタヤウニ最高賦課額ヲ適當ニ
決メテ參リタイト云フヤウナコト
ニ致シタイト思ツテ居リマス
○官署委員 只今ノ適當ト云フコ
トデテ承シタ譯デアリマスガ、斯
ウシタ實例ガアル譯デアリマシテ
是等ノ點ハドウ云フモノデアアル
カ、簡單ニ御伺ヒシテ置キタイト
思フノデアリマス、私ノ近グ隣村
ノ村民税ハ何デモ資産家ニ十分ノ
一ヲ課スト云フコトガ年々決マツ
テ居ル、納稅者モ村會ニ於テモソ
レデ承知シテ居ル譯デアリマス
ガ、サウシタ關係ハ適當デアアル
不適當デアアルカ、ソレニ押付ケル
ヤウニ凡ユル資産ナリ所得ノ算定
ヲシテ參ルト云フヤリ方ヲシテ參
ル譯デアリマスガ、是等ガ果シテ
適當デアアルカドウカト云フコトモ
併セテ御伺ヒシテ置キタイト思フ
ノデアリマス

○郵政委員

御話ノアリマシタ
具體的ナ例ニ付キマシテハ、實情
ニ付キマシテ更ニ調ベテ見ナケレ
バイケナイコトダト存ジマス、御
話ノヤウナ程度デアレバ是ハ不適
當ナコトデアアルト考ヘマス
○官署委員 次ハ配付稅ノ改正ニ
付テ御伺ヒシタイノデアリマス、
配付稅ノ起リハ、地方財政調整交
付金ト云フヤウナ關係カラ參ツ
テ、漸次進ンデ配付稅、分與稅ト

○郵政委員

御話ノアリマシタ
具體的ナ例ニ付キマシテハ、實情
ニ付キマシテ更ニ調ベテ見ナケレ
バイケナイコトダト存ジマス、御
話ノヤウナ程度デアレバ是ハ不適
當ナコトデアアルト考ヘマス
○官署委員 次ハ配付稅ノ改正ニ
付テ御伺ヒシタイノデアリマス、
配付稅ノ起リハ、地方財政調整交
付金ト云フヤウナ關係カラ參ツ
テ、漸次進ンデ配付稅、分與稅ト

云フヤウナ法律ガ出來タ譯デアリ
マスガ昭和五十八年頃ノ農山村ノ
極度ノ不況ニ際シテ、農山村方面
ハ負擔ガ非常ニ過重デアルト云フ
ヤウナ見地カラシテ、國民負擔ノ
均衡ト云フ旗印ノ下ニ地方財政調
整交付金ノ實現方ニ付テ時ノ政府
ニ要望致シタノデアリマスガ、昭
和十一年ノ廣田内閣ノ馬場藏相ノ
當時デアリマスガ、是ハ馬場財政
案ト稱シテ二十數億ノ地方財政調
整交付金ヲ支出致シマシテ、地方
都市ト中央トノ負擔ノ不均衡ヲ是
正スル意味合ニ於テ此ノ地方財政
調整交付金ノ案ヲ立テラレタヤウ
デアリマシタガ、不幸ニシテ廣田
内閣ハ次ノ年ノ一月議會ノ半バニ
於テ總辭職ヲサレテ、其ノ次ノ林
内閣ガ成立致シマシタガ、馬場財
政案ヲ覆サレテ全然是ニハ目ハ觸
レナカツタト云フコトデアリマシ
テ、非常ニ農村方面ハ激怒シテ内
閣ニ陳情其ノ他色々運動ガ開始サ
レタコトハ御承知ノ通りデアリマ
ス、サウ致シマシテ林内閣ハ其ノ
年ノ六月與黨ガ少ナカツタト云フ
ヤウナ關係モアリマシタガ、凡ユ
ル迫害ヲ受ケテ儘カ五月下旬ニ總
辭職シタト思フノデアリマス、次
ノ近衛内閣ガヤハリ色々國民負擔
ノ均衡ト云フヤウナ關係カラ凡ユ
ル民ノ意見ガソコニアルト云フ意
味合カラ致シマシテ、満足ノ行
ク程度ハナカツタケレドモ、或ル
程度ノ額ガ臨時議會ニ提出サレテ

云フヤウナ法律ガ出來タ譯デアリ
マスガ昭和五十八年頃ノ農山村ノ
極度ノ不況ニ際シテ、農山村方面
ハ負擔ガ非常ニ過重デアルト云フ
ヤウナ見地カラシテ、國民負擔ノ
均衡ト云フ旗印ノ下ニ地方財政調
整交付金ノ實現方ニ付テ時ノ政府
ニ要望致シタノデアリマスガ、昭
和十一年ノ廣田内閣ノ馬場藏相ノ
當時デアリマスガ、是ハ馬場財政
案ト稱シテ二十數億ノ地方財政調
整交付金ヲ支出致シマシテ、地方
都市ト中央トノ負擔ノ不均衡ヲ是
正スル意味合ニ於テ此ノ地方財政
調整交付金ノ案ヲ立テラレタヤウ
デアリマシタガ、不幸ニシテ廣田
内閣ハ次ノ年ノ一月議會ノ半バニ
於テ總辭職ヲサレテ、其ノ次ノ林
内閣ガ成立致シマシタガ、馬場財
政案ヲ覆サレテ全然是ニハ目ハ觸
レナカツタト云フコトデアリマシ
テ、非常ニ農村方面ハ激怒シテ内
閣ニ陳情其ノ他色々運動ガ開始サ
レタコトハ御承知ノ通りデアリマ
ス、サウ致シマシテ林内閣ハ其ノ
年ノ六月與黨ガ少ナカツタト云フ
ヤウナ關係モアリマシタガ、凡ユ
ル迫害ヲ受ケテ儘カ五月下旬ニ總
辭職シタト思フノデアリマス、次
ノ近衛内閣ガヤハリ色々國民負擔
ノ均衡ト云フヤウナ關係カラ凡ユ
ル民ノ意見ガソコニアルト云フ意
味合カラ致シマシテ、満足ノ行
ク程度ハナカツタケレドモ、或ル
程度ノ額ガ臨時議會ニ提出サレテ

○郵政委員

御話ノアリマシタ
具體的ナ例ニ付キマシテハ、實情
ニ付キマシテ更ニ調ベテ見ナケレ
バイケナイコトダト存ジマス、御
話ノヤウナ程度デアレバ是ハ不適
當ナコトデアアルト考ヘマス
○官署委員 次ハ配付稅ノ改正ニ
付テ御伺ヒシタイノデアリマス、
配付稅ノ起リハ、地方財政調整交
付金ト云フヤウナ關係カラ參ツ
テ、漸次進ンデ配付稅、分與稅ト

○郵政委員

御話ノアリマシタ
具體的ナ例ニ付キマシテハ、實情
ニ付キマシテ更ニ調ベテ見ナケレ
バイケナイコトダト存ジマス、御
話ノヤウナ程度デアレバ是ハ不適
當ナコトデアアルト考ヘマス
○官署委員 次ハ配付稅ノ改正ニ
付テ御伺ヒシタイノデアリマス、
配付稅ノ起リハ、地方財政調整交
付金ト云フヤウナ關係カラ參ツ
テ、漸次進ンデ配付稅、分與稅ト

實現ヲ見、サウシテ地方財政調整交付金ノ率ヲ定メテ、ソレニ依ツテ順次進デ參ツタ譯デアリマス、其ノ後ニ配付税、分與税ノ法律ガ出來マシテ、非常ニ多額ノ配付ガ分與税ガ出來タ爲ニ地方財政モ非常ニ緩和致シマシタ、農村不況ノ當時、此ノ財政調整交付金或ハ地方分與税、配付税ノ法律ガ出來テカラハ町村モ財政ガ比較的樂ニナツテ參ツタ譯デアリマス、サウシテ昭和二十年ニハ約九億カラノ地方費ノ財源ニ充テラレタ譯デアリマシテ、今度二十數億ノ配付分與ノ豫算ヲ設ケ、或ハ斯ウシタ分與税法ノ改正ノ出來マスコトハ内務、大藏兩大臣ヲ初メトシテ各關係者ニ對シテ私ハ敬意ヲ表スル譯デアリマス、唯色々ト内務大臣カラ案ノ説明ガアリマシタノデ、此ノ案ガ今度ハ必ズシモ分與タケデハナイ、地方財政ノ調整ノミデハナクシテ、財源ノ附與デアルト云フヤウナ性格ヲ併セテ持タセタト云フヤウナ意味合カラ申シマスト、是ハ地方財政調整ト云フヤウナコトハ單ニ配付分與デアナイト云フコトノ意味合カラ行ケバ已ムヲ得ナイコトデアアルケレモ、私ノ杞憂デアアルカモ知レマセヌガ心配ニナルノハ今同ノ配付税ノ改正ハ都市ヲ重視シ、農村ヲ輕視シテ、其ノ配付方法ガ農山村方面ノ稅收入ヲ奪ツテ都市ニ持ツテ行カレハシナイカ、農村方面ノ財源ガ

不足スルコトニハナリハシナイカト云フコトノ所見デ御伺ヒスル次第デアリマス

ト思フノデアリマス、以前モ第三種ハサウデアツタト思ヒマスガ、又今度ノ第三種ガ特別ト云フ字ニ直サレタノハ、特別デアルカラ第三種ト云フヨリモ特別ト云フ方が妥當デアルト云フ風ニ考ヘマシテ、是ハ結構ナコトデアリマシタレドモ、併シ此ノ率ガ特別配付税ガ百分ノ五デハ少過ギハシナイカ、今ノ色々ナ私ノ意見ヤ地方局長サシノ御答辯ニアルヤウニ、是ハ地方ノ財政ノ調整ト云フコトニモ意味ヲナシテ居ルト云フコトカラ考ヘマス、五デナク十位ニシテ置イテ、ドウシテモ凡ユルコトガ理窟通りヤ法定ノ基準率ダケノ計算ノ上カラ割出シタノデハ、其ノ町村ノ實情ヤ自治體ニ當嵌マラナイト云フヤウナ例ハ多クアル譯デアリマス、ソコデ特別配付税ト云フヤウナ法ヲ設ケテ、茲ニ若干ノ配付スル金額ガアツテ、法定基準率ニ依ツテ計算ラシテ配付スルノデ、其ノ町村ニ實際ニ財政ノ調整ガ出來ナカツタト云フ場合ニ於テ、第三種ノ分ヲ先ヅ擱ミ金デ出ス、サウシテ財政ノ調整ヲスルト云フヤウナコトニナツテ參ラナケレバナラナイ、擱ミ金デアルト云フコトニナルト、是ハ事務的カラ行ケバ勿論出來ナイコトゴザイマス、實際ノ法定基準率トカ或ハ凡ユル計算ノ上ニ現ハレタ所ヲ其ノ町村ニ配付スルト云フコトニナツテ參ラナケレバナラナイノデア

リマスケレドモ、實際此ノ基準率デヤツタ場合ニ、机上ノ上ダケノ考ヘ或ハ計算ニ現ハレタ通りデハ、其ノ町村ニハビツタリ合ハナイ、甲乙ノ町村トノ實際ノ調整ノ比較ガ皆クイカナイト云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、是ハ五デナク十ニシテハドウカ、只今デハ第一種、第二種トモ百分ノ四十五デアリマスガ、今五位殖ヤシテ置イテ調整ラシタナラバ皆ク行キハシナイカト云フ實情カラ考ヘマシテ、私ノ意見ヲ申上ゲマシテ、出來ルナラバサウ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲル次第デアリマスガ、之ニ付テ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○郡政府委員 御話ノゴザイマシタヤウニ此ノ度ノ分與税制ノ改正ガ財源附與ト云フ點ニ相當重點ガ置カレテ居リマスルシ、其ノ爲ニ割増人口ノ計算方法等モ改正致サレテ居ルノデアリマス、併シナガラ配付税制ノ狙ヒトシテ居リマスル所ハ、地方團體間ノ財政ノ調整ニ其ノ主眼ガアリマスルコトハ固ヨリデアリマス、左様ナ見地カラ考ヘテ見マスニ、實際ノ配分ニ於キマシテ所得税ナリ、法人税ナリ、遊興飲食税ナリ、是等ノ税ノ分布ハヤハリ都市殊ニ大都市ニ何ト申シマシテモ著シク分布致サレテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ度ノ改正案ノ程度ノ分與方法デハ、マダノ配付税ヲ農村カラ奪ヒマシテ都市ノ方ニ流スト云フヤウナコトニハ相成ツテ度ラヌ、又事實各町村別ニ現在四散ラ致シテ居リマスケレドモ、町村民税ヲ滿度マデ徴リマセヌデモ、財政經理ノ可能ナル町村ハ相當數發見シ得テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ農村方面ノ税ヲ都市ノ方ニ流スト云フヤウナ點ハ實際ニ於テ起ツテ居ナイト云フ合ニ御理解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○宮澤委員 更ニ分與税ノ第三種ガ特別配付税ニナツタト云フヤウナ意味合デ私ノ意見ヲ申述ベタイ

○郡政府委員 仰セノ通り終戦後ノ狀況ト申シマスルモノハ、斟酌配分ヲ相當活用致サナケレバナラヌヤウナ状態ニナツテ居リマス、是ガ地方分與税制ノ上カラ理想カラ申セバ必ズシモ宜イコトダトハ申セナイカモ知レマセヌガ、兎ニ角差當ツテノ年度ニ於キマシテハ、斟酌配分ノ活用ト云フコトガドウシテモ必要ナノデアリマスガ斟酌配分ノ幅ヲ著シク擴張マスコトハ、又分與税全體ノ配分ノ上カラ必ズシモ好マシクゴザイマセヌラ從來ノ第三種配付額ガ百分ノ五ニ相成ツテ居リマシタシ、特別配付税ト致シマシテハ百分ノ五ト致シテ居リマスケレドモ、其ノ外ニ戦災市町村等ニ對シマシテ臨時特別配付税ヲ百分ノ二十見テ居リ

マス、之ヲ寄セマシテ是ハ正確ナ戦災市町村ニ對スル税ノ減收ノ對象ト致シテ居リマスガ、此ノ分ヲ百分ノ二十見テ居リマスルト、此ノ兩者ノ操作ニ依リマシテ概ネ第一種配付ト第二種配付ヲ以テ十分ニ實情ニ妥當シ得マセヌ分ヲ補充スルコトガ出來ルカノヤウニ現在ノ所考ヘテ居ル次第ゴザイマス

○宮澤委員 今一ツ御聽キシタイノ目標ニ付テト云フコトデ、地方財政ノ現況、地方財源ノ擴充ニ付テノ具體的目標、地方財政ノ自主性ノ強化ニ付テノ具體的目標、地方財政ノ調整強化ニ付テノ具體的目標、之ヲ御聽キシタカツタノデアリマスガ、昨日モ色々御聽キシタ所ガ此ノ「パンフレット」ニ要領ガ書イテアルト云フコトデ大體之ヲ見ルト了承ガ出來ル譯デアリマスガ、今申上ゲタ中デドウシテモ此ノ印刷物ダケデアハ了解出來ナイ點ガアル譯デアリマシテ、其ノ點ヲ二、三御伺ヒシテ私ノ質問ヲ打切りタイト思フ譯デアリマス

一トシテ國民學校ノ書記ハ學校ノ大小ニ依ツテ人數ヲ違ヘテ參ルカ、サウシテドウ云フ事務ヲ執ルカト云フコトガ、次ハ地方財政ノ自主性ノ強化ノ中デアリマスガ、地方的色彩ノ濃イ事務ニ對スル補助金ハ整理シテシマフト云フコトデアリマスガ、其ノ中ニ青年學校ノ教育費ノ國庫金ヲ廢止スル

マシ、之ヲ寄セマシテ是ハ正確ナ戦災市町村ニ對スル税ノ減收ノ對象ト致シテ居リマスガ、此ノ分ヲ百分ノ二十見テ居リマスルト、此ノ兩者ノ操作ニ依リマシテ概ネ第一種配付ト第二種配付ヲ以テ十分ニ實情ニ妥當シ得マセヌ分ヲ補充スルコトガ出來ルカノヤウニ現在ノ所考ヘテ居ル次第ゴザイマス

○宮澤委員 今一ツ御聽キシタイノ目標ニ付テト云フコトデ、地方財政ノ現況、地方財源ノ擴充ニ付テノ具體的目標、地方財政ノ自主性ノ強化ニ付テノ具體的目標、地方財政ノ調整強化ニ付テノ具體的目標、之ヲ御聽キシタカツタノデアリマスガ、昨日モ色々御聽キシタ所ガ此ノ「パンフレット」ニ要領ガ書イテアルト云フコトデ大體之ヲ見ルト了承ガ出來ル譯デアリマスガ、今申上ゲタ中デドウシテモ此ノ印刷物ダケデアハ了解出來ナイ點ガアル譯デアリマシテ、其ノ點ヲ二、三御伺ヒシテ私ノ質問ヲ打切りタイト思フ譯デアリマス

第六類第十四號 所得税法の一部を改正する等の法律案外二件委員會議録 第三回 昭和二十一年八月六日

マシ、之ヲ寄セマシテ是ハ正確ナ戦災市町村ニ對スル税ノ減收ノ對象ト致シテ居リマスガ、此ノ分ヲ百分ノ二十見テ居リマスルト、此ノ兩者ノ操作ニ依リマシテ概ネ第一種配付ト第二種配付ヲ以テ十分ニ實情ニ妥當シ得マセヌ分ヲ補充スルコトガ出來ルカノヤウニ現在ノ所考ヘテ居ル次第ゴザイマス

トアル譯デアリマスガ、是ハ青年學校ノ教育費デアルカラ勿論教員ノ給料モ補助ヲ打切ルコトデアル、サウシテ若シ此ノ教員ノ補助ヲ打切ツタ場合ニハ國ニ倣ツテ府縣補助モ合セテ交付シテ居ル譯デアリマスガ、是ハ非常ニ多額ニナリマスガ、教員ノ補助ヲ打切ルカドウカト云フコトデアリマス、其次ハ國民學校ノ女子ノ教職員ノ補助金ノ増額ガ府縣ニ對シテ行ハレルヤウデアリマスガ、府縣へ參リマスト配當旅費デアツテ、先ツ摺ミ金デ甲ノ學校ハ是デ旅費ヲ一年中納ヘ、乙ノ學校ハ是デ旅費ヲ實際ニ合ハナイ譯デアルガ、是等ノ關係ニ付テドウ云フ御考ヘデアリマスカ、尙ホ電柱稅、不動産取得稅ノ制限ハマダ致シテアツテ、他ノ獨立稅ハ整理シタノデアリマスガ、此ノ電柱稅ハ制限ヲモツト上ゲタ方宜クハナイカ、此ノ電柱稅ヲ廢止シナカツタ理由ヲ御伺ヒシタイ、尙ホ國稅、府縣稅、市町村稅併シテ一人當リ、一世帶當リノ負擔ハドレ位ノ御見透シヲ持つテ居ラレルカ、以上ノ點ニ付テ御伺ヒシタイ

○郵政委員 國民學校ノ書記ハ國民學校ニ於ケル事務ヲ致スモノデ、十五學級ヲ超エル學校ニニ名置クコトニ致シテ居リマス、青年學校ノ教育費補助デアリマスガ、是ハ諸給與ノ補助ヲ廢止シタノデ設備費ハ從來通りニナツテ居リマス、國民學校ノ關係職員ノ一般旅費ニ付テハ、御話ニナリマシタヤウナ、實情ニ副ハナイ點ハ十分檢討シテ是正致シタイト思ツテ居リマス、電柱稅ニ付テハ大體現行ノ二・七倍ノ程度ノ引上ヲ致シテ居リマス、不動産取得ニ付テモ從來ノ千分ノ十六ヲ二十五ニ致シテ居リマス、大體左様ニナツテ居リマス

○富澤委員 青年學校ノ教員ノ給料ハドウナリマスカ、昨年ト同ジニナツテ居リマスカ

○郵政委員 是ハ府縣ノ負擔ニナリマシテ、之ニ對シテノ財源ヲ別ニ付與致シテ居リマス

○池田(勇)政府委員 國稅ノ方ハ專賣益金ヲ加ヘマシテ大體二百二十八億圓、地方稅ハ今度ノ増稅ヲ入レテ、分與稅ヲ除キマスガ、三十億圓デアリマス、全體ガ二百五十八億圓デアリマシテ、一人當リ三百四十圓程度デアリマス

○富澤委員 長時間ニ互ツテ内務省、大藏省關係ノ質問ヲ致シ、同僚委員ノ皆様ニモ御迷惑デアツタト恐縮ニ存ジマス、尙ホ政府當局ノ懇切ナル御答辯ヲ戴キマシテ満足致シテ次第デアリマス、以上ヲ以テ私ノ質問ヲ打切りマス

○吉米地委員長 今日ノ委員會ハ是ニテ終リ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午前十一時四十八分散會